

第38期第7回理事会議事録

日 時：2014年12月24日（水）13時30分～16時45分
 会 場：ちよだプラットフォームスクウェア 会議室
 504

出席理事：新野 宏，藤谷徳之助，岩崎俊樹，
 榎本 剛，塩谷雅人，竹内綾子*，田中 博，
 中村健治，廣岡俊彦，藤部文昭，山田和孝，
 以上11名

Web 会議システムを通じた出席理事：佐藤 薫**，
 余田成男**，以上2名
 *：議題5の途中から出席，**：議題5の途中
 から欠席
 （理事現在数20名）

出席監事：高谷康太郎，以上1名

その他の出席者：田沢，渡辺，下道（事務局）

議 題

1. 第38期第6回理事会議事録の確認
2. 会員の新規加入等について
 新入会員6，退会6を全会一致で承認した。2014年12月17日現在，会員数3,637名で個人会員は3,386名。
3. 「会費の使途に関する規則」の制定
 会費の使途に関する規則について確認し，施行日を平成26年12月24日として制定することを全会一致で承認した。
4. 「前渡金等取扱要領」の改定
 支部の会計に関する項目の追加について検討を行い，全会一致で承認した。別表1の改定については再度検討することとなった。
5. 各委員会からの報告
 庶務…以下の報告があった。

1) 転載許可

- ①申請者：Connie Hale, Colorado State University, Department of Atmospheric Science
 転載元：Figures 3, 4, 5, 6, 7, 8 and 9; Matsuno, T., 1966: Quasigeostrophic motions in the equatorial area. J. Meteor. Soc. Japan, 44, 25-43.
 Figure 5; Nakazawa, T., 1988: Tropical super clusters within intraseasonal variations over the western Pacific. J. Meteor. Soc. Japan, 66, 823-839.

転載先：“An Introduction to the Global Circulation of the Atmosphere”, Dr. Randall, Princeton University Press, June 2015

②申請者：Xiaofan Li

転載元：Li, X., and X. Shen, 2013: Rain microphysical budget over tropical deep convective regime. J. Meteor. Soc. Japan, 91, 801-815.

転載先：“Cloud-Resolving Modeling of Convective Processes”, Xiaofan Li and Xinyong Shen, Published by Springer

③申請者：テラパブ代表取締役押田恵司

転載元：Fig. 1; Kondo, Y., N. Takegawa, H. Matsui, T. Miyakawa, M. Koike, Y. Miyazaki, Y. Kanaya, M. Mochida, M. Kuwata, Y. Morio, M. Shiraiwa, 2010: Formation and Transport of Aerosols in Tokyo in Relation to Their Physical and Chemical Properties: A Review. J. Meteor. Soc. Japan, 88, 597-624.

転載先：“Effects of black carbon on climate: Advances in measurement and modeling”, Monographs on Environment, Earth and Planets

④申請者：法政大学通信教育部長藤澤利治，文学部地理学科教授佐藤典人

転載元：第12図，内田英治，「V字型の雲パタンと日本海沿岸の大雪」，天気，Vol.26, No.5.
 第5図，宮下 敦他，「成蹊気象観測所における視程観測について」，天気，Vol.41, No.10.
 第2図，吉村 稔，「熱帯収束帯(ITCZ)に関する気候学的研究」，天気，Vo.17, No.3.

転載先：通信教育テキスト「自然地理学（気候・気象）」，法政大学発行，2015年3月発行予定

2) 後援名義等使用依頼受付

- ①名称：原子力災害緊急時の拡散・沈着モデルに関する国際ワークショップ；学術モデルから実用モデルへの橋渡し
 主催：原子力災害緊急時の拡散・沈着モデルに関する国際ワークショップ実行委員会
 期日：2015年3月2日～4日
 場所：福島大学
 名義：後援

②名称：雷サミット14～自然を活かした市民の学び～

主催：鶴岡市・雷文化都市構築推進委員会

期日：2015年1月17日

場所：鶴岡市先端研究産業支援センター

名義：後援

③名称：第30回北方圏国際シンポジウム－オホーツク海と流水－

主催：紋別市

期日：2015年2月15日～19日

場所：北海道紋別市（紋別市民会館・紋別市文化会館）

名義：後援

3) 規程類の公開について

法人の情報公開の責務、会員の利便性から必要な規程類をホームページで公開することが全会一致で承認された。

4) その他

①12月1日：松野太郎名誉会員から300万円の寄附金

会計…2014年11月分の収支及び現預金検査報告。

企画調整…以下の項目が報告された。

- ・第38期評議員会に関し、候補者選定に関する進捗状況及び日程について（4月開催の方向で調整中）報告された。
- ・第1回支部長会議での議論を受け、学会の財政、支部体制、会員制度に関する検討を行うワーキンググループを企画調整委員会に設置することが提案され、全会一致で承認された。

天気…Vol.61 No.12（2014年12月号）、Vol.62 No.1（2015年1月号）の掲載記事と、Vol.62 No.2、3（2015年2、3月号）の予定記事の報告があった。また、2015年3月号掲載記事について、研究を本務としない機関の職員からの掲載料免除申請について承認したことが報告された。

気象研究ノート…第229号の指摘に対する回答について、正式に受理し、天気2月号に掲載予定であることが報告された。

気象集誌…論文に付与されているdoiに関し、古い論文に付与されていないことについて確認が必要との意見があった。

SOLA…国会図書館等に納入している冊子体の作成について、事業の継続の是非について議論を行った。

学術…日本学術会議の大型研究計画マスタープランの策定に関連して、「航空機観測による大気科学・気候システム研究」の研究集会在12月19日に開催されたことが報告された。

地球環境…「地球温暖化－そのメカニズムと不確実性－」の出版報告。

教育と普及…気象学会ジュニアセッションについて開催の通知を送付したことが報告された。

国際学術交流…日中韓合同学会について、日程を引き続き中韓に確認中であることが報告された。また、補助金申請について、補助金額と申請期限について検討が必要であることが議論された。

電子情報…metsoc.or.jpで運用されているメールアドレスの整理を行ったこと、metsoc.jpへの完全移行は、当初の1月末から3月に変更したい旨が報告された。

人材育成・男女共同参画…2014年10月の秋季大会において実施した研究・学業環境等についてのアンケートの集計結果について参加者に確認中であること、報告書を天気に掲載予定であることが報告された。

6. その他

福島第一原子力発電所事故関連の学会活動として12月17日に「提言」を気象学会ホームページに掲載し、記者クラブに配布したことが報告された。また、原子力学会に依頼された学会活動に関する原稿について、内容の確認を行った。

平成27年1月28日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監事 高谷康太郎